

教育委員コラム

改めて「教育」とは



教育委員 宮田 昇子

この春、小学生になる親戚の女の子に会った時のこと。コロナ禍を経て久しぶりに会ったので、すっかりとお姉さんになったなど成長ぶりに目を細めながら一緒に手遊びに興じていました。と、唐突に女の子が「痛い痛い、飛んでいけー」。一瞬、意味が分からなかったのですが、彼女の視線の先を見て理解。数日前、私は調理中の不注意で手の甲に火傷を負っていて、その痕に気づいて案じてくれたのでした。

「これ、どうしたの?」「痛い?」などの問いは一切なく、自分の目についた傷痕から、「痛いだろう」と想像力を働かせ、「早く治りますように」と願う。他人の痛みに気づき、素直に心配してくれる、優しい子に育っているなあと感慨深く思うとともに、そのバックグラウンドにも自然と思いを馳せました。ご両親をはじめ、祖父母や幼稚園の先生方、地域の方などに、たくさん愛情を注がれて生まれた豊かな感受性なのだ。小学生になって、これまでとはまた違った形で集団や他者と関わることで、彼女の感受性がさらに高まっていくだろうと想像すると、とても楽しみになりました。

本町の教育目標は「学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む」です。教育には「する側」「される側」が存在します。教育をする側であろう学校、家庭、地域社会には、それぞれに果たすべき役割や目標があり、期待される効果がありますが、する側、される側双方の思いや考えに齟齬が生じることもあるでしょう。互いに歩み寄る努力を重ねて、育てながら育っていききたいものです。「教育をする側であろう」としたのは、教育を通して学ぶこと、得ることも多く、逆に教育されるという側面もあると思うからです。

地域社会の一員として、そして親として、互いに教え、教わり、高め合っていけるような関わり合いを心掛けていきたいと改めて思わされたひとときでした。

No. 38

2024/4

発行／弟子屈町教育委員会
教育長 岩原 勝行
教育長職務代理者 金井 秀明
委員 菅原 誓之
委員 吉田 一徳
委員 宮田 昇子

4年が経過した弟高夢叶塾

教育長 岩原 勝行

弟子屈高校に通う生徒のための公設民営塾「弟高夢叶塾」が開設されてから4年が経過しました。令和5年度は全校生徒の68%に当たる42名が通塾。苦学教科の克服をはじめ、徹底した個別指導、高校との連携、保護者面談の実施、定期テスト前の自習室の開放などで着実に成果が上がっており、特に今春の卒業生は全員が目標とした進路実現を果たしました。

夢叶塾の会場となっている高栄会館2階の窓には、講師手作りの「卒業おめでとう」の文字も掲げられ、卒業生の新たな出発を応援しています。



“社会を明るくする運動” 作文コンテスト

教育長職務代理者 金井 秀明



第73回“社会を明るくする運動”作文コンテストで、川湯中学3年（現高1年）の林采音さんが佳作に入賞しました。道東地区中学生の部で応募総数10校144点の中から選ばれたものです。全国の小中学生からは306,302点の応募がありました。

“社会を明るくする運動”は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちや非行をした少年たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。作文コンテストは、小中学生が犯罪や非行に関して考え、感じたことを作文に書くことで、本運動への理解を深めてもらうことを目的としています。未来を担う子どもたちが犯罪や非行について考えることが、犯罪の無い明るい社会への礎になればと思います。

弟子屈高校卒業式

教育委員 菅原 誓之



3月1日、弟子屈高校の「第60回卒業証書授与式」に参列させていただきました。当日は24名の卒業生と多くの父母が出席していました。

また、コロナ禍で在校生がいない中での卒業式が続いていましたが、この日は在校生も共に祝福し、たくさんの拍手に迎えられる卒業式となりました。

式終了後には、玄関前で在校生や先生方が花束や記念品などを手渡して卒業生を見送り、久しぶりに賑やかな送別となりました。

私事ですが、子どもたち3人が通い、育てていただいた思い出の弟子屈高校とも、第60回という節目の卒業式でお別れとなりました。ありがとうございました。

帯広地区学校選抜コンサート

教育委員 吉田 一徳

3月17日に帯広市民文化ホールで開催された、帯広地区吹奏楽連盟主催の学校選抜コンサートに行ってきました。

16校から69人が参加の中学校選抜、8校から54人が参加の高校選抜、7団体から74人が参加の大学・一般の合計3つのバンドが出演し、素晴らしい演奏を披露していました。

学校選抜コンサートは20年以上前からの取り組みとのことですが、様々な要因で部員数が減少する中で、人的交流や演奏技術向上などの効果が期待されます。

釧路地区も様々なコンサートがありますが、一堂に会して演奏する機会はないので羨ましく思うと同時に、当地区でも同じような取り組みを期待したいと思います。



教育への長年の功績を称える

教育委員 宮田 昇子

弟子屈町校長会・教頭会による退職校長・教頭感謝状授与式が3月26日に開催されました。

令和5年度に退職を迎える校長・教頭に対し、教育に長年貢献してきた功績に感謝の意を表すもので、川湯小学校校長をもって定年を迎えた上中義人先生に感謝状と記念品が贈られました。

上中先生は、35年にわたる教員人生の中で、弟子屈小学校、和琴小学校、川湯小学校と、弟子屈勤務が11年に及び、本町の教育振興に尽力していただきました。



4月からはこれまでの経験を活かし、一般教員として再び弟子屈小学校で活躍していただいています。

例年この時期は、各校の卒業式にお邪魔させていただきます。それぞれの学校ごとに工夫や趣向が凝らされ、毎年とても感動し、涙腺も緩みがち…。今年は川湯小学校の卒業式に伺いました。卒業証書授与、壇上で校長先生から証書を受け取った後にガッチリと握手。降壇前に一度立ち止まり、受け取ったばかりの証書を会場に向けて開いて見せる卒業生の表情はとても誇らしげで、胸を打たれました。式が終わり、卒業生が退場…と、会場後方の保護者席の前で7名の卒業生が横一列に並び、深々とお辞儀を…。思わず保護者の気持ちになりながら、その頼もしい背中を眺めました。新しい春を迎えた皆さん、本当におめでとうございます。（宮田）

編集後記